

学校教育目標「自ら考え、主体的に行動する子どもの育成」	No18 2026 ②月
くすのき小学校 学校だより	2月3日 発行
くすのき小学校 校長 花岡 純 四條畷市二丁通町18-1	



左の二次元コードを読み取っていただくと、くすのき小学校のHPにアクセスできます。学校だよりをカラーでも閲覧できますので、ご活用ください。



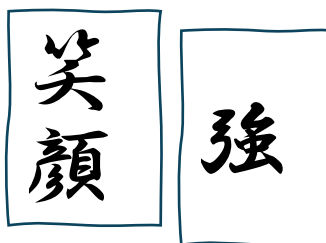
### 学校閉鎖を終えて

先週の水曜日から金曜日にかけて、インフルエンザ等の影響で、学校を閉鎖していましたが、元気な子どもたちの様子がみられてホッとしました。この間、教職員も多数欠席することになり、学校運営の体制も整わずご心配おかけしました。

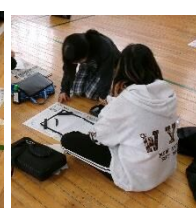
月も変わり、3学期の再スタートを切りました。今年度最後の学習参観・学級懇談会も日程を変更して、全ての学年が2月6日（金）（別紙、案内を確認ください。）に行います。1年間の学習活動とおした子どもたちの成長を参観いただけたらと思います。

### 思いを込めて

3学期始め、三味線の音が静かに流れ新春の雰囲気につつまれた体育館で、「笑顔で過ごしたい」「体も心も強くありたい」今の思いを込めて、6年生が書初めをしました。トン スー トン 筆先を約45度傾けて置き、止める時に形を整えて…。3年生で初めて習った学習を思い出しながら。



とめ、はね、はらい これまで  
に習った筆づかいを意識して  
一画一画ていねいに集中し  
て書こうとする様子がとても  
素晴らしかったです。



### 体力向上の取組

くすのき小学校の重点取組みとして、体力づくりを位置付けています。朝の学習の時間に、体幹トレーニング、腕支持感覚等を高める取組を進めてきました。3学期は、ペース走集会にて、音楽に合わせて縄跳びをしてから、同じくくらいの速さで走り続けるペース走に取り組んでいます。

縄跳びは、子どもの発達にとっても良い影響があります。

①全身の持久力・心肺機能の向上

縄跳びはリズムよく跳び続ける運動なので、自然と心拍数が上がり、持久力が育ちます。

②調整力（コーディネーション能力）の発達

縄の回転とジャンプを同時に行うため、タイミングを合わせる力、リズム感、身体の動きをコントロールする力が高まります。

また、ペース走には、縄跳びとはまた違った、子どもの発達にとっても大きな意味があります。

①持久力（心肺持久力）の向上

一定のスピードで走り続けることで、心臓や肺の働きが強くなり、長時間動き続けられる体になります。

②自分のペースをコントロールする力

「速すぎても遅すぎてもダメ」という運動は、自己調整力を育てます。これは学習場面にもつながる重要な力です。

③持続する力・粘り強さの育成

ペース走は、途中でやめなくなる気持ちと向き合う運動でもあります。「あと1周がんばる」「最後まで走り切る」といった経験が、精神的な成長につながります。



### お知らせとお願い

公表しておりません